

授業科目名(英文名) / Course title	持続可能社会創成学概論 / Introduction to Science for Sustainable Societies				
担当教員(所属) / Instructor	和田 直也(サステナビリティ国際研究センター), 本間 哲志(経済学部経済学科), 中村 真由美(経済学部経済学科), 張 勤(理学部), Geetha Mohan(サステナビリティ国際研究センター), Chakraborty Shamik(サステナビリティ国際研究センター), 堀田 裕弘(都市デザイン学部都市・交通デザイン学科), 堀 祐治(都市デザイン学部都市・交通デザイン学科)				
授業科目区分 / Category	専門教育科目 学環共通科目				
地域課題解決型人材育成プログラム科目 / COC+Course 平成28年度入学者から適用	-	授業種別 / Type of class	講義科目		
開講学期曜限 / Period	2026年度 / Academic Year 第1ターム / Term 1 月/Mon 2	対象所属 / Eligible Faculty	持続可能社会創成学環(修士課程) / Graduate School of Sustainability Studies		
時間割コード / Registration Code	D41001	対象学年 / Eligible grade	1年, 2年	単位数 / Credits	1単位
ナンバリングコード / Numbering Code					
Moodleコース統合時間割コード / Moodle course join Registration Code					
Moodleコース登録教員名 / Moodle course registered Instructor					
MoodleコースURL / Moodle course URL	<a href="https://moodle52.u-toyama.ac.jp/course/view.php?idnumber=2026_D41001">https://moodle52.u-toyama.ac.jp/course/view.php?idnumber=2026_D41001</a>				
各種教育プログラム1 / Various educational programs1					
各種教育プログラム2 / Various educational programs2					
各種教育プログラム3 / Various educational programs3					
各種教育プログラム4 / Various educational programs4					
各種教育プログラム5 / Various educational programs5					
SDGsとの関連 / Related SDGs					
昨年度からの改善点 / Changes from last year					
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日				
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals				
<p>持続可能な社会を構築するためには、現代社会が抱える課題を、様々な分野で積極的に解決することが必要です。さらに本講義では、人文・社会・都市デザイン・理学のそれぞれの専門分野の視点から、各分野の相互作用として生じている課題を提示し、その解決のために必要な対策について学習します。これらの学習を通じ、一つの分野に留まらない、分野横断的な考え方の理解を深めます。</p>					
達成目標 / Course Goals					
<p>本授業8回分を受講することを通じて、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)」(以下SDGs)に関する基礎的な知識を取得し、自ら考えて説明できる。</li> <li>・気候変動や生物多様性、地球環境問題やサステナビリティの問題が、生活や社会にどのような影響を及ぼしているか、世界・国・地域の観点から学び、受講学生が学識者として社会及び自然に対する意見を言える能力を身につける。</li> <li>・SDGsについての理解を深めると同時に、環境・国家・社会・経済など様々な観点で、持続可能な社会の構想実現に向けた社会の要求などについて、多面的に考える能力(問題発見・資料収集・総合判断・改善策提案など)を高める。</li> </ul>					
授業計画(授業の形式、スケジュール等) / Class schedule					

<p>第1回：ガイダンス；戦後の人間・社会・地球システムの変遷史 —なぜ持続可能な社会を目指すのか—（和田）</p> <p>第2回：SDGsとは、気候変動と持続可能社会（張）</p> <p>第3回：Sustainable solutions for global environmental problems（Geetha）</p> <p>第4回：Addressing socioecology for sustainable societies: Can we connect society with nature?（Chakraborty）</p> <p>第5回：計量経済学的視点からのデータサイエンス入門（本間）</p> <p>第6回：SDGs課題を解決するための社会科学（中村）</p> <p>第7回：都市のエネルギー政策とサステナビリティ（堀）</p> <p>第8回：Introduction of commonly-used smart city technologies（堀田）</p>	
<p>授業時間外学修（事前・事後学修）/ Independent Study Outside of Class</p>	
<p>授業時間外学修は、授業1回分に対して0.5～2時間程度の自主学修である。学修効果を高めるため、事前学修では主にこれまでの授業内容について復習を行い、事後学修では小テストを通じての学習を行うと同時に、場合によっては課題に対するレポートを作成する。</p>	
<p>キーワード / Keywords</p>	<p>気候変動、人間・社会・地球システム、変遷史、環境法・環境政策、都市政策、資源循環、地域づくり、北東アジア地域</p>
<p>履修上の注意 / Notices</p>	<p>すべての週の講義に出席すること。 レポートや小テストなどの際、学科名や学生番号と名前など、個人を特定できる情報を必ず記入すること。記入がない場合は、採点対象外（0点）となることがある。</p>
<p>教科書・参考書等 / Textbooks</p>	<p>教科書</p> <p>参考書</p> <p>教科書・参考書に関するその他通信欄</p> <p>授業の前に各担当教員から連絡し、必要な資料は配布する。</p>
<p>成績評価の方法 / Evaluation</p>	<p>皆出席を原則とする。達成目標で掲げている知識の取得や能力を、各回を担当する教員による小テスト（あるいはレポート）に基づき、総合的に評価する。 小テスト（あるいはレポート）の合計点（100%）</p>
<p>関連科目 / Related course</p>	
<p>リンク先URL / URL of syllabus or other information</p>	
<p>備考 / Notes</p>	